

平成16年の日本の天候（速報）

連続した高温と記録的台風上陸

平成16年の天候の特徴

年を通じて全国的に高温傾向が持続した。特に、東日本では12月18日までの平均気温偏差が+1.3 となり、1946年の統計開始以降で年平均気温の1位となる見込み。

全般に梅雨前線の活動は不活発だったが、7月中旬に活発化したため新潟・福島豪雨、福井豪雨が発生し甚大な災害をもたらした。

10個の台風が上陸し、1951年の統計開始以降の記録を大幅に更新した。南西諸島への接近数も15個と記録を更新した。これらの台風による大雨、暴風、高潮などにより全国的に甚大な災害が発生した（台風については参考資料「平成16年の台風について」を参照下さい）。

全国的な高温となった春、6、7月を中心に猛暑となった夏、9月の残暑、11月の記録的な高温など、年を通じて全国的に高温傾向が持続した。東日本の1月1日から12月18日までの平均気温偏差は+1.3 となり、従来の年平均気温の記録である+1.1（1990年および1998年）を超え1946年以降で歴代1位の高温となる見込みである。また、北日本、西日本はともに+1.1 となり、それぞれ1990年の+1.4、1998年の+1.5 に次ぐ2位の記録となる見込みである。季節ごとの天候の特徴は以下のとおり。

冬（平成15年12月～平成16年2月）は、全般に冬型の気圧配置が長続きせず高気圧に覆われやすかったことから、気温は北・東日本で高温、西日本、南西諸島は平年並となった。また、東日本太平洋側、西日本、南西諸島では日照時間がかかなり多かった。

春は全国的に高温となった。3月～4月は東・西日本を中心に高気圧に覆われやすく少雨・多照、5月は前線の影響を受けやすかった西日本以北で多雨・寡照が顕著であった。

梅雨入りは、奄美地方、東北北部で遅かった他は平年並ないし早く、梅雨明けも全域で平年並ないし早かった。全般に梅雨前線の活動は不活発だったが、7月中旬には活発化した梅雨前線により新潟・福島豪雨、福井豪雨が発生し甚大な災害をもたらした。

夏は太平洋高気圧の勢力が日本付近で強く、オホーツク海高気圧がほとんど出現しなかったことから、気温は北・東・西日本で高く、南西諸島で平年並となった。台風が6月に2個、7月に1個、8月に3個相次いで上陸し、1951年以降の夏の台風上陸数記録（1962年の5個）を更新した。

秋は9月の残暑がほぼ全国的に厳しく、また11月には北・東日本を中心に記録的な高温となるなど、全国で高温となった。また、10月に北・東・西日本で記録的な多雨となるなど、台風や前線の影響を受けやすかった東日本太平洋側、西日本で多雨が顕著であった。台風は9月に2個、10月に2個上陸し、秋の上陸数4個は1951年以降で1位タイ記録となった。

*本資料は12月18日現在でまとめたものです。確定値による結果は平成17年1月4日に発表します。

*本資料の地域平均値の算出には、全国153の観測所のうち、その地域に含まれる全観測所の値を使用しています。一方、平成16年12月16日に報道発表した「日本の年平均気温の平年差」は、長期にわたって観測を継続している観測所のうち、都市化による影響が小さい17地点から算出したものです。

表 - 1 年平均気温、年降水量、年間日照時間の地域平均年差（比）
（2004年12月18日までの資料による）

				2004年1月1日～2004年12月18日			
	気温 年差 ℃	降水量 年比 %	日照時間 年比 %		気温 年差 ℃	降水量 年比 %	日照時間 年比 %
北日本	1.1	101	99	北海道	1.2	97	99
	日 1.1	日 107	日 97		日 1.1	日 104	日 96
	太 1.2	太 96	太 101		オ 1.6	オ 92	オ 103
東日本	1.3	116	110	東北	1.1	109	100
	日 1.3	日 104	日 108		日 1.1	日 117	日 97
	太 1.3	太 120	太 111		太 1.0	太 104	太 102
西日本	1.1	113	110	関東甲信	1.3	117	112
	日 1.2	日 104	日 110	北陸	1.3	104	108
	太 1.1	太 121	太 110	東海	1.3	123	109
南西諸島	0.4	92	105	近畿	1.3	112	110
				日 1.3	日 101	日 110	
				太 1.3	太 113	太 110	
			中国	1.2	113	108	
			陰 1.3	陰 103	陰 107		
			陽 1.2	陽 122	陽 110		
			四国	1.2	133	110	
			九州北部	1.1	104	111	
			九州南部	0.8	106	109	
			本 0.9	本 112	本 110		
			奄 0.5	奄 87	奄 105		
			沖縄	0.4	94	104	

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土（九州南部）
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

表 - 2 月平均気温、月降水量、月間日照時間の記録を更新した地点数
（更新が5地点以上の場合に更新地点を含む地域も記述した）

（2004年1月～11月）

	高温	低温	多雨	少雨	多照	寡照
1月		1	1	東・西日本の5地点	2	
2月	3		3	1	全国の39地点	
3月				北・東日本の5地点		
4月	3			3	東・西日本の34地点	
5月	3		北・東・西日本の15地点		1	4
6月	北・東・西日本の32地点		2		1	
7月	東・西日本の6地点			西日本の7地点	2	
8月			3	1		
9月			1	1		西日本の5地点
10月	1		北・東・西日本の32地点	3		
11月	北・東日本の37地点			2	西日本の13地点	

図 - 1 地域平均気温偏差の5日移動平均時系列

(2004年12月18日までの資料による)

2004年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

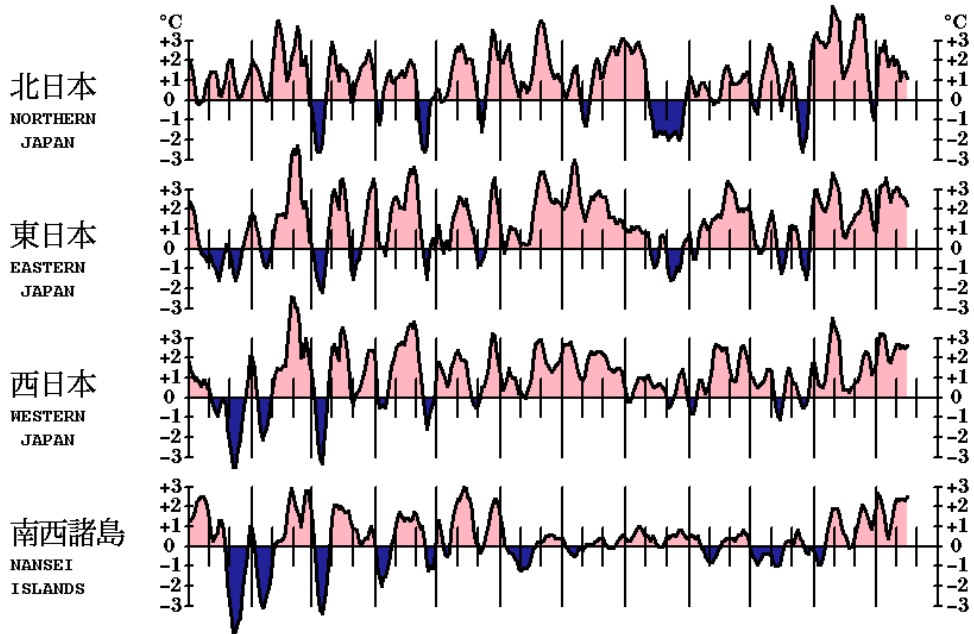
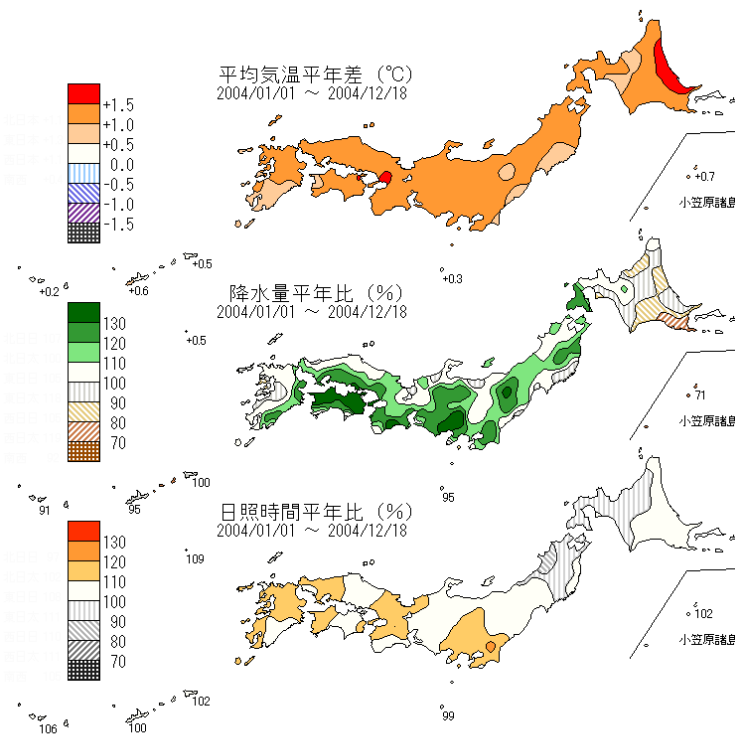


図 - 2 年平均気温、年降水量、年間日照時間の平年差(比)分布図

(2004年12月18日までの資料による)



平成16年の台風について

1. 今年の台風の特徴

今年の台風の特徴としては、12月20日現在までの発生数が29個と平年（26.7個）並みである一方で日本に上陸・接近する数が記録的に多かったこと（図1）、また、台風が強い勢力のまま日本に上陸・接近したことで、日本全国に大雨や暴風による大きな被害をもたらしました。詳細は以下の通りです。

（1）記録的な上陸数

今年日本に上陸した台風の数10個（平年2.6個）で、平成2年（1990年）と平成5年（1993年）の記録6個を大きく上回りました。

（2）記録的な接近数

今年日本に接近した台風の数19個（平年10.8個）で、昭和26年（1951年）の台風統計開始以降で昭和35年（1960年）と昭和41年（1966年）の記録に並び歴代最多となりました。また、発生した台風のうち日本に接近した台風の比率が高いのも今年の特徴です。

（3）強い勢力のまま本土に接近した台風

本土（北海道、本州、四国、九州）に接近した台風12個のうち、北緯30度まで北上した時点で台風の中心付近の最大風速が33メートルを越えて「強い台風」以上の階級^{*1}であった台風は9個を数えました。これは、中心付近の最大風速の解析を開始した昭和52年（1977年）以降で最多となりました。（図2）

2. 台風情報とその精度

台風の進路予報（中心位置の予報）の精度は、年々変動はありますが、予報技術の向上によって着実に向上しています（図3）。また、ここ2、3年の進路予報に明らかな精度向上が見られたことから、気象庁は今年6月1日より進路予報における予報円^{*2}の大きさを見直しました。その結果、6月1日以降に発生した台風第4号から台風第27号について、予報円は平均で前年比約15%小さくなりましたが、すべての予報事例のうち約70%の事例で台風の中心が予報円に入り、予報円半径は適切な大きさであったことがわかります。

* 1 気象庁では、台風のおおよその勢力を示す目安として、台風の「大きさ」と「強さ」を表現しており、「強さ」は中心付近の最大風速で区分しています。最大風速33メートル以上の台風は、「強い」またはそれ以上の階級に該当します。

* 2 台風の中心が予報した時間に到達する可能性の高い範囲を円で表したもの。台風の中心が予報円に入る確率は70%。

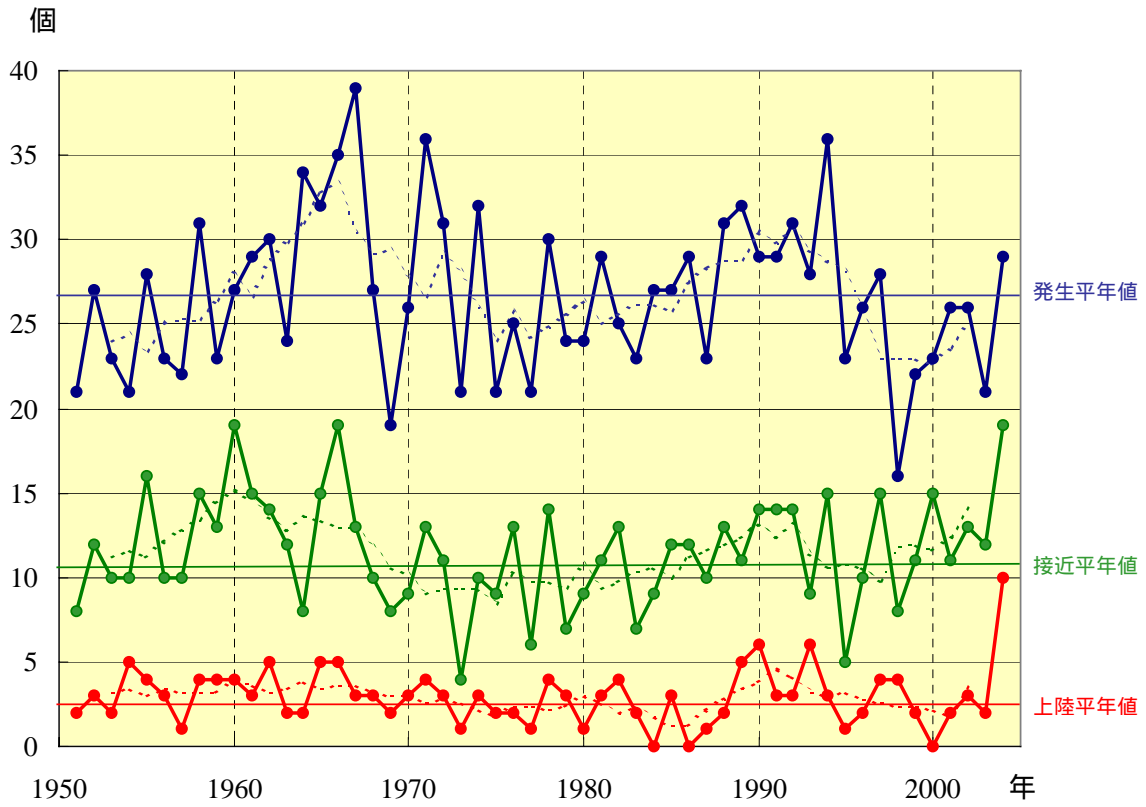


図1 台風の年間発生数・接近数・上陸数
青：発生数、緑：接近数、赤：上陸数、点線は5年移動平均

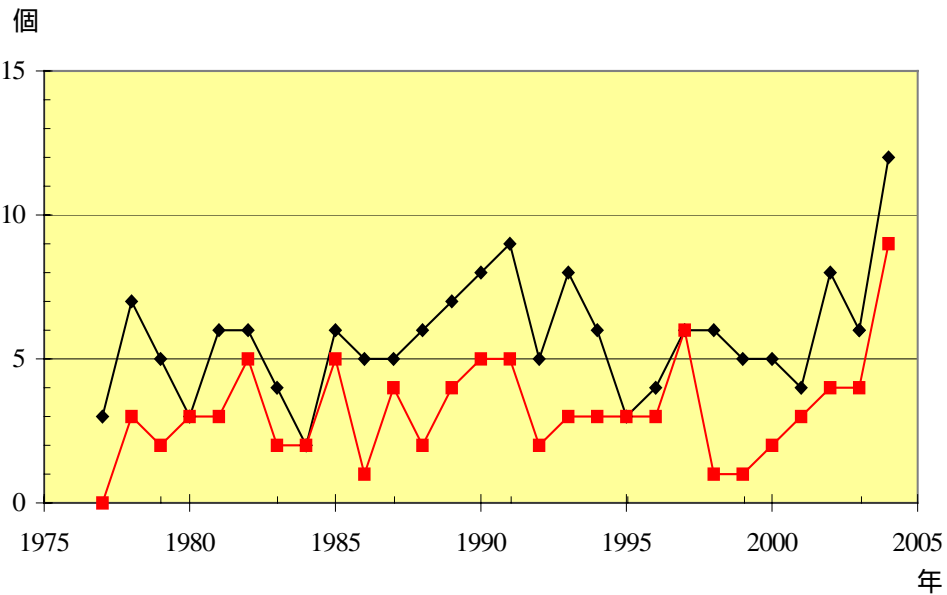


図2 本土に接近した台風（黒）とそのうち北緯30度まで北上した時点で台風の中心付近の最大風速が33メートルを越えた台風（赤）の数

予報誤差 (km)

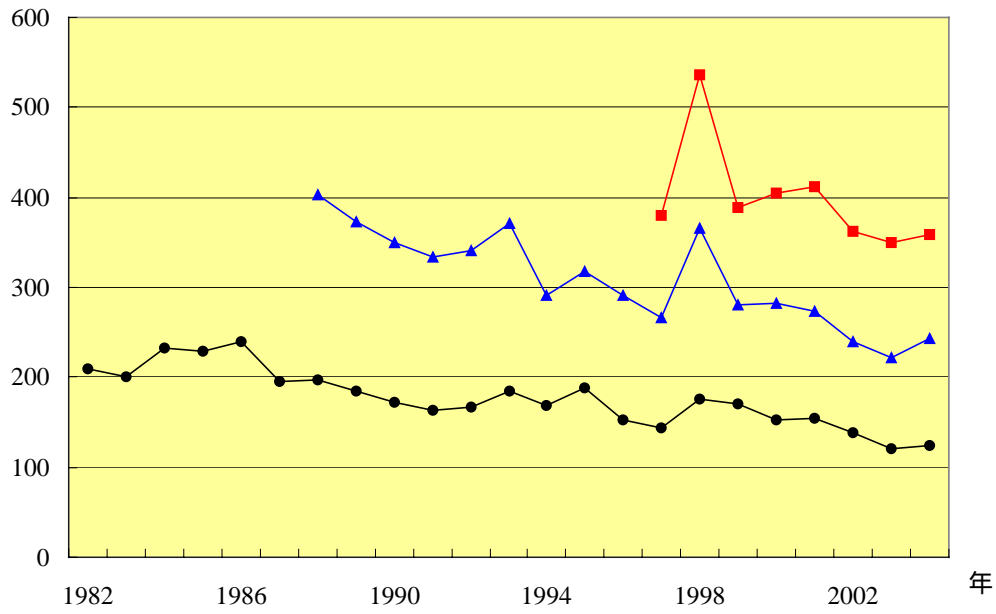


図3 台風進路予報の精度 (年平均)

黒：24時間予報、青：48時間予報、赤：72時間予報

本年については台風第1号から台風第27号まで予報精度

表. 平成16年(2004年)台風一覧 (平成16年(2004年)12月20日9時現在)

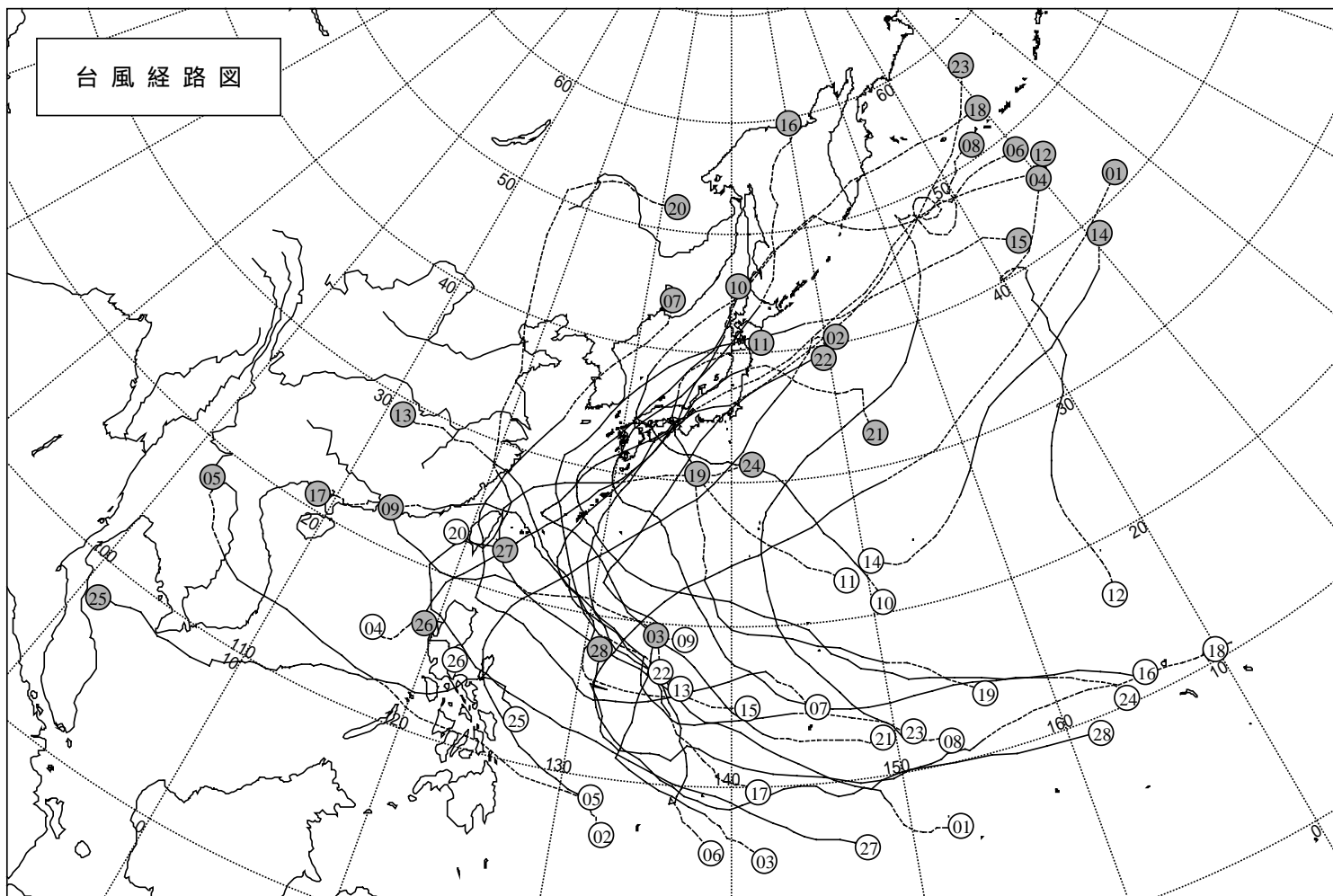
台風番号	呼名	台風期間	期間内の最低気圧(最大風速)とその日時・位置				
			(hPa)	(m/s)	起時	北緯(度)	東経(度)
1	スーダエ	4月5日 9時 - 4月16日 21時	940	45	4月10日 9時	10.8	135.2
2	ニーダ	5月14日 9時 - 5月21日 15時	935	50	5月16日 21時	12.7	125.6
3	オーマイス	5月18日 9時 - 5月21日 15時	985	25	5月19日 21時	11.4	133.0
4	コンソン	6月7日 3時 - 6月11日 18時	960	40	6月9日 21時	23.6	123.7
5	チャンスー	6月11日 3時 - 6月13日 15時	975	30	6月12日 15時	13.8	109.8
6	ディアンムー	6月13日 21時 - 6月22日 3時	915	50	6月16日 9時	14.3	136.5
7	ミンドゥル	6月23日 15時 - 7月4日 9時	940	50	6月29日 9時	18.8	124.1
8	テンテン	6月26日 9時 - 7月4日 15時	955	40	6月30日 18時	25.8	142.3
9	コンパス	7月14日 9時 - 7月16日 21時	992	23	7月14日 21時	20.4	121.6
10	ナムセーウン	7月25日 9時 - 8月2日 9時	935	45	7月27日 9時	27.7	146.0
11	マーロウ	8月4日 9時 - 8月5日 6時	996	20	8月4日 12時	30.9	136.9
12	ムーランティ	8月4日 21時 - 8月9日 15時	960	40	8月6日 3時	28.0	167.3
13	ラナニム	8月8日 21時 - 8月13日 9時	950	40	8月11日 21時	24.4	125.2
14	マラカス	8月11日 9時 - 8月14日 3時	990	23	8月12日 3時	30.7	162.1
15	メーギー	8月16日 15時 - 8月20日 18時	970	35	8月18日 9時	28.4	125.3
16	チャバ	8月19日 21時 - 8月31日 15時	910	55	8月24日 3時	17.1	141.1
17	アイレー	8月20日 9時 - 8月26日 15時	955	40	8月24日 9時	24.7	123.9
18	ソングダー	8月28日 9時 - 9月8日 9時	925	50	9月4日 15時	16.7	148.5
19	サリカー	9月5日 3時 - 9月7日 15時	980	30	9月5日 21時	18.4	145.8
20	ハイマー	9月11日 9時 - 9月13日 15時	996	20	9月12日 3時	24.4	122.1
21	メアリー	9月21日 3時 - 9月30日 9時	940	45	9月24日 15時	20.1	133.3
22	マーゴン	10月4日 15時 - 10月10日 9時	920	50	10月8日 3時	23.3	130.9
23	トカゲ	10月13日 9時 - 10月21日 3時	940	45	10月16日 21時	18.4	133.0
24	ノックテン	10月16日 21時 - 10月26日 15時	945	45	10月23日 9時	17.4	132.3
25	ムイファー	11月15日 3時 - 11月25日 21時	955	40	11月18日 9時	15.6	123.7
26	マールボック	11月22日 21時 - 11月23日 15時	998	18	11月22日 21時	15.4	121.7
27	ナンマドル	11月29日 9時 - 12月4日 15時	935	45	12月1日 15時	12.5	130.5
28	タラス	12月11日 15時 - 12月19日 15時	992	20	12月12日 3時	9.6	156.8
29	ノルー	12月19日 3時 -					

表1 平成16年(2004年)に発生・接近・上陸した台風番号(平成16年(2004年)12月20日9時現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計数	平年値																					
発生台風番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	29	26.7	
上陸台風番号				4	6				10	11					15	16	18			21	22	23								10	2.6	
接近台風番号	1	2		4	6	7	8		10	11		13		15	16	17	18			20	21	22	23	24		27				19	10.8	
全国																																
本土		2		4	6				10	11				15	16	18				21	22	23	24							12	5.2	
南西諸島		2		4	6	7						13		15	16	17	18			20	21	22	23	24		27				15	7.2	
伊豆・小笠原諸島	1	2					8		10											21	22	23								7	5.0	
予報区																																
北海道					6									15	16	18														4	1.5	
東北		2			6									15	16	18				21	22	23								8	2.2	
北陸				4	6				11					15	16	18				21	22	23								9	2.2	
関東甲信		2			6				11					16						21	22	23								7	2.8	
東海		2		4	6				10	11				16	18					21	22	23								10	2.9	
近畿				4	6				10	11				16	18					21	22	23								9	2.8	
中国				4	6				10	11				15	16	18				21	23									9	2.6	
四国				4	6				10	11				16	18					21	22	23								9	3.0	
九州北部				4	6				10	11				15	16	18				21	23									9	3.2	
九州南部				4	6				10					15	16	18				21	23	24								9	3.6	
沖縄		2		4	6	7						13		15	16	17	18			20	21	22	23	24		27				15	7.0	

- ・本表は台風の発生月別にとりまとめたもの。台風によっては接近・上陸月と発生月が違う場合がある。
 - ・全国には南鳥島を含まない。
 - ・南西諸島には奄美を含むが、種子島・屋久島は含まない。
 - ・九州北部には山口県を含み中国には山口県を含まない。
- 上陸台風(4号、6号、10号、11号、15号、16号、18号、21号、22号、23号)

台風経路図 (平成16年(2004年)台風第1号~第28号)



破線部分：熱帯低気圧または温帯低気圧の期間

丸の中の数字：台風番号

白丸：解析開始時の位置

灰色の丸：解析終了時の位置